

## パラメーターに関する文献調査

### コンブ目 炭素含有率

コンブ類を中心に文献調査した結果、文献値のバラつきによる標準偏差がごく小さく、コンブ目では共通な値と考え設定した。

表 1 コンブ目に関する文献調査

種類	海域	炭素含有率	出典
マコンブ	南茅部	0.30	1. Mizuta et al. (1998)
マコンブ	三陸沿岸	0.30	2. 村岡2003
マコンブ	宮城県松島湾	0.24	3. 谷口2003
ミツイシコンブ	宮城県松島湾	0.30	3. 谷口2003
ホソメコンブ	北海道小樽市忍路湾	0.29	4. 水産土木建設技術センターほか2004
ホソメコンブ	北海道小樽市忍路湾	0.28	4. 水産土木建設技術センターほか2004
ホソメコンブ	北海道小樽市忍路湾	0.28	4. 水産土木建設技術センターほか2004
ホソメコンブ	宮城県松島湾	0.29	3. 谷口2003
平均		0.29±0.02	

表 2 収集文献リスト

No.	文献名
1	Hiroyuki Mizuta, Junko Hayasaki & Hirotohi Yamamoto. Relationship between Nitrogen Content and Sorus Formation in the Brown Alga <i>Laminaria japonica</i> Cultivated in Southern Hokkaido, Japan. Fisheries science. 1998, Vol.64(6), pp909-913.
2	村岡大祐. 『三陸沿岸の藻場における炭素吸収量把握の試み』. 東北水研ニュース. 2003, vol.65, pp2-4.
3	谷口和也. 『コンブ属褐藻の形態学的、生理生態学的研究』. 平成12-14年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書. 2003, p149.
4	水産土木建設技術センターほか. 『藻場等の沿岸海域保全機能の解明調査』. 2004, pp1-94.